



和訳文

## BNP パリバ・グループ

## 2008年度決算報告書

2008年度：金融危機にもかかわらずグループ帰属純利益は30億ユーロ

	2008年度	2007年度
営業収益	273億7600万ユーロ	310億3700万ユーロ
営業総利益	89億7600万ユーロ	122億7300万ユーロ
リスク費用	-57億5200万ユーロ	-17億2500万ユーロ
グループ帰属純利益	30億2100万ユーロ	78億2200万ユーロ
株主資本利益率	6.6%	19.6%
1株当たり配当金	1.00ユーロ	3.35ユーロ

## 資本を強化

	2008年12月31日	2007年12月31日
TIER 1比率	7.8%	7.3%
		8.4% (プロフォーマ)*

\*フランス政府による景気刺激策の第2段階に参加する2009年1月1日現在の予想値

## 2008年度第4四半期業績：市場の混乱と景気の悪化の影響を大きく受けた

営業収益	48億5000万ユーロ (前年同期比29.9%減)
リスク費用	-25億5200万ユーロ (前年同期の3.4倍)
グループ帰属純利益 (-は損失)	-13億6600万ユーロ (前年同期は10億600万ユーロ)

## 2009年度のアクション・プラン：状況に素早く順応できる能力の強化

- 特に CIB 事業部門のリスク加重資産を削減する。
- 利益創出により資本基盤を強化する。
- コストを一定に保つ。

BNP パリバは、2009年度の厳しい環境下においても好業績を維持している

2009年2月18日、BNPパリバ取締役会は、ミシェル・ペブロー会長が議長を務める会議において、2008年度第4四半期の当グループの業績を検討し、2008年度の決算を承認しました。

## 金融危機にもかかわらず 2008 年度も利益創出力を維持

未曾有の金融危機が続く中、2008年度の当グループの営業収益の合計は、リテール・バンキングおよびAMS事業部門の業績が大幅に回復したことから、273億7600万ユーロに達し、僅かな減益（2007年度比11.8%減）に留まりました。

全業務部門でコスト削減策を実施すると共にボーナスを大幅に減額した結果、営業費用を184億ユーロ（2007年度比1.9%減）に抑制することができました。

特に米国やスペイン、またその後のウクライナにおける景気後退に加え、混乱が続く金融市場における多くの取引先の債務不履行が大きな重荷（当年度における影響額は20億ユーロ超）となり、リスク費用の合計は57億5200万ユーロ、すなわち2007年度水準の3倍となりました。しかし、コーポレート・ローン・ポートフォリオは、2008年度に大幅な悪化が生じることなく、また、当グループの2大国内市場であるフランスとイタリアにおける1世帯当たりの負債保有率は欧州で最低水準であることから、依然として高い質を維持しています。

税引前利益は39億2400万ユーロ（2007年度は110億5800万ユーロ）でした。この利益は、リテール・バンキングおよびAMS事業部門が、資本配分後の税引前配分資本利益率をそれぞれ25%および28%に維持・創出できたことによるものです。CIB事業部門の純損失は、当年度末の極めて厳しい市況により、11億8900万ユーロとなりました。それでもなお、この損失は、他行の同様の事業活動と比較して回復していることを示しています。

グループ帰属純利益の合計は30億2100万ユーロ（2007年度は78億2200万ユーロ）となりました。

## 対照的な各コア事業の第4四半期の業績

第4四半期の業績は、リーマン破綻後に生じた金融危機に端を発する以下の3種類の悪化要因の影響を受けました。

- 資本市場の急激かつ加速的な衰退：Eurostoxx 50指数が、当期中に19%、2008年度通期で49%下落しました。この資本市場の急落により、上場銘柄を含む当グループの投資ポートフォリオおよび保険業務部門の勘定について、減損費用（それぞれ4億4100万ユーロおよび1億4200万ユーロ）を計上しました。
- 未曾有の市場の混乱：流動性の枯渇によって、資本市場の突然かつ大規模な崩壊、ボラティリティの急激な上昇、資本市場と各種指標の相関、従来へのヘッジ関係の崩壊がさらに進みました。全市場で、これらの事象が未曾有の規模で山積したため、CIB事業部門の市場関連事業における営業収益は、マイナス11億4900万ユーロとなりました。また当グループの営業収益の合計も、2007年度第4四半期比29.9%減の、48億5000万ユーロとなりました。
- リスク費用の急増：市場における金融危機の深刻化により、モノライン保険会社の債務不履行や市場のその他取引先の債務不履行、またMadoffの詐欺によるエクスポージャーが増加（それぞれ、引当金ベースで4億2700万ユーロ、3億400万ユーロ、3億4500万ユーロ）しました。加えて、特に米国、スペインおよびウクライナにて景気後退がさらに進んだため、

バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス事業部門および UkrSibbank においてリスク費用が大幅に増加（それぞれ、2 億 8300 万ユーロ、3 億 8400 万ユーロ、2 億 7200 万ユーロ）しました。リスク費用の合計は、2007 年度第 4 四半期比 18 億 700 万ユーロ増の 25 億 5200 万ユーロとなりましたが、2 大国内市場（フランスとイタリア）における業績は、好調を維持しました。

営業費用は、全事業部門で素早く調整を進めたために 8.1%減の 43 億 800 万ユーロとなったものの、CIB 事業部門にて生じた各種難題が主な原因で、当グループの 2008 年度第 4 四半期の損益は 13 億 6600 万ユーロの純損失（2007 年度第 4 四半期は 10 億 600 万ユーロの利益）となりました。

### **コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業部門**

2008 年度第 4 四半期の CIB 事業部門の営業収益の合計は、リーマン破綻後の市場の混乱の悪影響を受け、マイナス 2 億 4800 万ユーロとなりました。各業務部門の業績は、さまざまでした。株式およびアドバイザリー業務部門は不況の影響を強く受けたものの、フィクスト・インカム業務部門は好調を維持し、ファイナンス業務部門は、企業向けローンへの需要の回帰現象（リインターメディエーション）を背景に記録的な営業収益をあげました。

改訂 IAS 第 39 号に基づき実施したトレーディング勘定から銀行勘定への会計上の組替えは、その大部分がフィクスト・インカム業務部門のものである 78 億ユーロの資産に関連するものでした。組替日以降、税引前利益への同資産の貢献額は 7800 万ユーロとなりました。なお、この組替えを行わなかった場合、組替日以降も同資産は公正価値で評価されることとなるため、2008 年 12 月 31 日終了年度の営業収益は、マイナス 4 億 2400 万ユーロとなっていました。

当事業部門の営業費用の合計は、迅速な調整策（特にボーナスの大幅減額）により、2007 年度第 4 四半期比 46.7%減の 5 億 1400 万ユーロとなりました。

リスク費用は、資本市場業務に伴う各種リスク（特にモノライン保険会社関連のリスクや Madoff の詐欺）の影響を大きく受け、13 億 500 万ユーロとなりました。

当事業部門の税引前損失の合計は、20 億 6800 万ユーロとなりました。

株式およびアドバイザリー業務部門の営業収益は、株式デリバティブが、当年度第 4 四半期における未曾有の市場の混乱の影響を大きく受けたため、マイナス 18 億 9900 万ユーロとなりました。

主に顧客関連ビジネスにより生じる株式デリバティブ関連エクスポージャーは、ボラティリティの上昇にもかかわらず、2008 年度 9 ヶ月間累計のバリュー・アット・リスクが安定推移していることからわかる通り、金融危機の当初から徐々に減少しています。第 4 四半期における、以下のような、市場関連の各種指標の突然かつ急激な変動により、各勘定の管理に膨大な費用がかかりました。

- ボラティリティの前例のない高水準化
- 市場が予想する配当性向の急落
- 各資本市場間や各指標間の相関の急上昇

流動性の低下が進む中、上記エクスポージャーは、前例のないボラティリティや毎日繰り返し損失を生むような多くの深刻な状況により増幅されました。

このため、市場リスクを軽減するための強力な対策を講じました。この対策は、費用は高額ながら、流動性が低下したポジションや、ストレス・テストにかかるセンシティブリティを減らすことでリスクヘッジ策を強化するというものです。

フィクスト・インカム業務部門は比較的好調を維持し、営業収益は7億5000万ユーロとなりました。顧客のニーズは、各市場（特に、フロー商品、金利、為替、コモディティ・デリバティブ、債券資本市場）における厳しい環境にもかかわらず引き続き高いものでした。しかし、市場の変動が大きかったため、ベース・リスクと関係のあるポジションにおいて損失が生じた他、デリバティブ取引のカウンターパーティ（特にモノライン保険会社）に関する信用調整額が急増（デリバティブ取引のカウンターパーティがマイナス6億7100万ユーロ。うち、モノライン保険会社がマイナス2億2000万ユーロ）しました。

さらに、モノライン保険会社について新たに生じた債務不履行リスクが重荷となり、当四半期のリスク費用は、4億2700万ユーロとなりました。

ファイナンス業務部門の当四半期の業績は素晴らしく、同部門が安定収益基盤であることを改めて証明しました。営業収益の合計は9億100万ユーロとなり、企業向けローンへの需要の回復現象（リインターメディエーション）を背景にローンに対する需要が高まったため、全ての業務において着実に増加しました。利鞘は、資本や流動性関連費用の増加に織り込まれています。

この業績は、実体経済への融資（特に、エネルギーやコモディティ関連企業への融資、資産担保融資および企業合併資金の融資等）の分野におけるBNPパリバのリーダーシップを証明するものです。

当四半期のリスク費用は、2億2900万ユーロとなりました。

2008年度通期のCIB事業部門の営業収益は、20億ユーロの公正価値調整額と、第4四半期における市場の混乱の影響を大きく受けたため、2007年度の81億7100万ユーロから49億7300万ユーロに減少しました。しかし最も影響を受けた事業について迅速に対策を実施すると共に、ボーナスを大幅に減額したため、営業費用は22.4%減少しました。リスク費用は24億7700万ユーロ（リスク加重資産の116bp）となり、うち21億2200万ユーロは、市場の各カウンターパーティに関する引当金に由来するものです。税引前純損失の合計は、11億8900万ユーロとなりました。

### 2009年度のアクション・プラン

2009年度も、CIB事業部門は、バリュー・アット・リスク、市場の極端なボラティリティに対するセンシティブリティ、構造的な非流動性リスクおよびベース・リスクを軽減することに焦点を当て、現在実施中のリスク軽減プロセスを継続していきます。このプロセスと、ファイナンス業務のリスク加重資産の安定化を目指すことで、同部門のリスク加重資産を徐々に減らしていきます。

CIB事業部門では、各商品を、顧客のニーズにあわせて積極的に再設計していく一方、大半の複雑な仕組み商品関連事業の大幅な縮小を継続し、フロー・ビジネスを拡大して、オーダーメイドのヘッジ商品を開発していきます。

最後に、当事業部門では、組織の合理化も進めます。優先事項は、ヨーロッパ主導となります。これにより、CIB事業部門のコスト（変動報酬を除く）を年間5%削減できる見込みです。

BNP パリバは、顧客主導型の事業モデルの実現や、ファイナンス業務が、安定収益基盤や、世界各国のデリバティブ市場および資本市場における最良の営業プラットフォームになるという重要な役割を果たす、バランスのとれた事業構成の実現を通じて、新たなコーポレートバンキング・投資銀行事業において重要かつ競争力のある金融機関になるという目標を追求します。

1 月、CIB 事業部門は顧客ビジネスを持続し、高い業績をあげました。

### **資産運用および証券管理 (AMS) 事業**

AMS 事業部門のフランチャイズの高い魅力は、2008 年度の純資産流入額が 110 億ユーロとなり、第 4 四半期の純資産流出額が 10 億ユーロに留まったという好調な業績により裏付けられました。この結果 BNP パリバは、2008 年度において正の純資産流入を達成した数少ない銀行の 1 行となりました。

当事業部門の各業務部門は、引き続きシェアを拡大しました。特にプライベート・バンキング業務部門はユーロマネー誌にて世界 6 位 (3 ランク上昇) となり、資産運用業務部門では、フランスにおけるシェアが 1.7 ポイント増加し 9.9%となりました (出典: Europerformance、2008 年 12 月)。

しかし、運用資産の目減り (2007 年 12 月 31 日現在 13.8%減) や、リターンの低い短期商品への資産流入の集中、また保険業務部門のエクイティ・ポートフォリオを対象とする 1 億 4200 万ユーロの公正価値調整などにより、営業収益は、2007 年度第 4 四半期比 19%減の 10 億 7100 万ユーロとなりました。公正価値調整の影響考慮後の正味の減益割合は、8.5%に抑えられました。証券管理業務部門の営業収益は、2007 年度第 4 四半期比 17.5%増となり、高い取引量により引き続き増加しました。

営業費用の削減割合は増加し、2007 年度第 4 四半期比 5.1%減 (当年度第 3 四半期における前年同期比は 2.1%減) となり、当業務部門の景気後退に対する調整能力が反映されました。

当事業部門は、深刻化する金融危機の中でも、2 億 1000 万ユーロに上る税引前利益を計上し、当年度第 4 四半期における収益の維持に成功しました。

2008 年度通期の AMS 事業部門の営業収益は、2007 年度比でわずか 6.3%減の 49 億 3500 万ユーロとなりました。影響を受けた大半の事業について迅速に対策を実施したため、営業費用は、1.6%増に留まりました。税引前利益は、リーマン及びアイスランドの銀行の破綻が原因で生じた 2 億 700 万ユーロの単発のリスク費用により減少し、31.6%減の 13 億 1000 万ユーロとなりました。この税引前利益の減少額は、同業の金融グループの中で最も少ないものでした。

### 2009 年度のアクション・プラン

2009 年度も、当事業部門は、総合的な開発 (特に商品やクロス・セリングの開発) を引き続き進めていきます。経済環境に応じた商品を提供するため、よりシンプルかつ多様で流動性の高い商品を提案していきます。

金融危機を受け、AMS 事業部門では、特に以下のような取り組みを通じて各業務部門の組織を見直す予定です。

- イタリアで導入し成功を収めた後フランスで使用した富裕層向け資産管理ネットワーク (Wealth Management Network) モデルの世界展開を継続する。
- 新たな保険商品を設計する。

- 金融サービス・グループによる証券管理業務のアウトソーシングから生じるチャンスを活かす。

最後に、当事業部門は、特に、その販売ネットワークを他社の多くのネットワークへと拡大し、全世界の営業拠点を最大限に活用することで、全業種において生産性の向上に努めていきます。

## リテール・バンキング

### フランス国内リテール・バンキング (FRB) 事業

第 4 四半期において、個人顧客向けおよび法人顧客向けローンの残高が増加（それぞれ前年同期比 7.1%増および 16.1%増）した事実は、FRB 事業部門の実体経済支援への貢献度を示しています。また預金残高の増加（前年同期比 10.7%増）も順調でした。

FRB 事業部門の新規個人顧客は引き続き増加し、第 4 四半期における当座および預金口座の純開設総数は 5 万口座（2008 年度通期では 20 万口座増）に達すると共に、100 万口座以上の非課税貯蓄型普通預金口座「Livret A」が開設され、20 億ユーロを集めました。

また FRB 事業部門は、法人関連市場（特に当座預金、フロー・ビジネス、投資信託の募集関連市場）においても引き続きシェアを拡大しました。またプライベート・バンキング業務部門における紹介による顧客の多さが、クロス・セリング戦略の有効性を証明しています。

当事業部門の営業収益の合計は、2007 年度第 4 四半期比 1.3%増の 14 億 4400 万ユーロとなりました<sup>1</sup>。金融貯蓄商品の不振が続く中、主に金融手数料が激減（2007 年度第 4 四半期比 23.9%減）したために、増益額は限定的でしたが、銀行業務手数料は 6%増加しました。受取利息純額は、預金およびローン関連の仲介業務が好調だったため、6.9%増加しました。

支店改装計画が進められる中、営業費用は 2007 年度第 4 四半期と同水準で推移<sup>1</sup>し、当事業部門は 1.4 ポイントの正のジョーズ効果を達成することができました。第 4 四半期のリスク費用はリスク加重資産の 38 ベーシス・ポイントとなり、前年同期の 25 ベーシス・ポイントと比較して小幅な変化に留まりました。

フランス国内プライベート・バンキング事業において、純利益の 3 分の 1 を AMS 事業部門に配分した後の FRB の税引前四半期利益は、3 億 1400 万ユーロとなりました。これは 2007 年度第 4 四半期比でわずか 2.5%の減少でした<sup>2</sup>。

2008 年度通期の営業収益の合計は、2007 年度比 2.2%増の 59 億 4300 万ユーロでした<sup>1</sup>。営業費用が 2007 年度比 0.8%増<sup>1</sup>に抑えられたため、2008 年度の目標を上回る 1.4 ポイントの正のジョーズ効果が生まれ、コスト/インカム率が 0.9 ポイント改善して 67%となりました。

リスク費用は、28.5%増の 2 億 300 万ユーロで<sup>1</sup>、バーゼル I 基準リスク加重資産の 20 ベーシス・ポイントでした。

フランス国内プライベート・バンキング事業において、純利益の 3 分の 1 を AMS 事業部門に配分した後の税引前利益は、4.7%増の 16 億 4100 万ユーロとなりました<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> フランス国内プライベート・バンキングの 100%に関して、PEL / CEL の影響を除く。

<sup>2</sup> PEL / CEL の影響を除く。

## 2009 年度のアクション・プラン

金融危機により生じた主要な課題を克服するため、FRB は、以下の 4 つの優先課題に焦点を当てていきます。

- 高い預金及び貯蓄性資産流入実績を維持するため、下落する短期金利に合わせた商品を提供する。
- 資本管理方法を最適化しつつ、リスク加重資産におけるリターンを監視し、できる限り資本を必要としない業務（銀行サービス業務や保険商品の販売業務等）の営業収益を拡大する。
- リスク管理業務において競争力を維持する。
- 雇用および投資を継続しつつコストを安定化させる。

法人および個人向けの融資計画を実施するために、当事業部門は、2009 年度中にローン残高の 4%増を目指します。

さらに FRB 事業部門は、成長の牽引力となるようなプロジェクト（インターネット販売モデルや複数の販売チャネルを活用するモデルの開発プロジェクト等）を強化するための取り組みに焦点を当てると共に、これらと当グループの他のリテール・ネットワークおよび専門業務部門とのシナジーを強化していきます。

2009 年度における当事業部門の目標は、1 ポイントの正のジョーズ効果を維持することです。

## BNL バンカ・コメルシアレ（BNL bc）

BNL の統合は無事に完了しました。統合によるシナジー効果は、2008 年度の期首において当初の計画より 15%上方修正され、2008 年 12 月 31 日までにすべて実現しました。これにより、統合実行における当グループの専門的能力が証明されました。

BNL bc は、環境が悪化する中においても発展を続けました。新規顧客獲得の牽引力となる対策により、第 4 四半期における当座および預金口座の純増数は 1 万口座超（2008 年度の純増数は 4 万 7000 口座、2007 年度は 6100 口座の増加、BNL が BNP パリバ・グループに統合された 2006 年度には 8 万 6000 口座の減少）でした。法人顧客向け業務は、引き続き早いペースで成長しました。これには、残高が 2007 年度第 4 四半期比 17.9%増となったローン業務のみならず、前年同期比 11.4%増となった、キャッシュ・マネジメント業務や貿易金融業務の営業収益も貢献しています。

営業収益は、特に営業収益におけるシナジーの実現により、2007 年度第 4 四半期比 5.1%増の 7 億 2500 万ユーロとなりました<sup>3</sup>。

支店改装計画（2008 年 12 月 31 日までに全体の 40%が完了）および 2008 年度における 50 店舗の新規支店開設を含む営業費用は、費用シナジーのおかげで横ばいでした<sup>3</sup>。この結果、2008 年度の目標と同水準の 5.1 ポイントのジョーズ効果を達成しました。この好調な業績を反映して、営業総利益は 2007 年度第 4 四半期比 16.5%増<sup>3</sup>と目覚ましい伸びを見せ、コスト/インカム率は前年同期比で 3.4 ポイントも改善しました。

<sup>3</sup> イタリア国内プライベート・バンキングの 100%に関して

リスク費用は、イタリアで景気後退が始まったことを受け、1億4700万ユーロとなりました。この実績は、2007年度第4四半期比5200万ユーロ増、すなわちリスク加重資産の102ベース・ポイント（前年同期は77ベース・ポイント）に相当します。

イタリア国内プライベート・バンキング業務において、純利益の3分の1をAMS事業部門に配分した後のBNLの税引前利益は、2007年度第4四半期比13.8%減の1億ユーロとなりました。

2008年度通期の営業収益は6%増加<sup>3</sup>し、営業収益は0.7%の増加<sup>3</sup>に留まったため、2008年度の目標を上回る5.3ポイントの正のジョーズ効果を達成すると共に、コスト/インカム率がさらに3.2ポイント改善して62.8%になりました。営業総利益は急増し、2007年度比16.3%増でした<sup>3</sup>。リスク費用は、29.2%増加して73ベース・ポイント（2007年度は65ベース・ポイント）となりました。イタリア国内プライベート・バンキングにおいて、純利益の3分の1をAMS事業部門に配分した後の税引前利益は、9.8%増の6億2800万ユーロとなりました。

### 2009年度のアクション・プラン

2009年度も、その事業牽引力を強化する一環として、BNL bcは、新規に50の支店を開設し、当グループへの統合後の支店開設総数を100店とする予定です。BNL bcは、優先事項として、フロー・ビジネス関連商品やクロス・セリングの強化に焦点を当てていきます。

コストを安定化させるため、BNL bcは、人員適正化の追求や、内部のITシステムとフランスにある当グループのシステムとの統合を目標とします。

これらの努力により、2009年度には再び5ポイントのジョーズ効果が生じる見込みです。

経済環境が悪化する中、BNLでは、リスク管理の強化を図るため現在実施中の管理対策を十分に活用し、より選択的与信基準の適用や各支店が監視対象顧客にローン返済条件に関する再交渉の機会を提供できる仕組みを導入する予定です。

### バンクウェスト

バンクウェストは、特に当四半期において深刻化している経済環境の悪化にもかかわらず、そのセールスおよびマーケティングの牽引力を顕示しました。

2008年度第4四半期の営業収益の合計は、ローン残高の増加（11.7%増）や、イールド・カーブのスティープ化およびスプレッドの拡大による純利鞘の増加（前年同期比16ベース・ポイント増の3.18%）により、連結範囲の変更による影響を除外した場合で12.1%増の6億ユーロとなりました。

営業費用（2億9900万ユーロ）の増加率は、恒常為替レートベースで4.1%増に下がりました。

リスク費用は、2億8300万ユーロとなり、引き続き増加しました。当四半期には、投資ポートフォリオ（特に銀行や保険信託の優先株式への投資）について、7700万ユーロの減損費用を追加計上しました。このポートフォリオのサブプライム証券、Alt-A、CMBSおよび関連するCDO証券のエクスポージャー総額は極めて低く、2億ユーロ未満です。当四半期のリスク費用残高は、景気後退によりあらゆる部門でローン・ポートフォリオの信用の質が低下していることを表しています。しかし、この信用の質の低下によるバンクウェストへの影響は、大半の同業他社より小さいものでした。



税引前利益の合計は 1700 万ユーロ（前年同期は 1500 万ユーロ）で、2008 年度通期の税引前利益は 3 億 3300 万ユーロとなりました。この結果バンクウエストは、2008 年度において大きな利益をあげることができた米国内の数少ないリテール・バンクの 1 行となりました。

2009 年度においては、米国内での新たな環境へ順応するための取り組みの一環として、バンクウエストは以下の活動に焦点を当てていきます。

- 特に、あらゆるネットワークを通じて商品を販売するという方法で、各種販売チャネルを最大限活用する。
- 特に、ミドル・オフィスやバック・オフィスの各プロセスをペーパーレス化するという方法で、コスト管理の規律を維持する。
- ローン残高を安定化し、厳格な与信基準を維持するという方法で、ローン・ポートフォリオの質を維持する。

### エマージング・マーケット

エマージング・マーケットのネットワークは、ウクライナでの経済危機の深刻化にもかかわらず、当四半期も好調を維持しました。新たに 25 万の顧客を獲得したことや、主に地中海沿岸地域にて新たに 65 の支店を開設し 2008 年度における総開設数が 167 店となったことが示す通り、当ネットワークは引き続き高い業績をあげました。ローン残高は、2007 年度第 4 四半期に比べて急増（25%増）しましたが、2008 年度第 3 四半期比では減少が見られるようになりました。2008 年度末現在、エマージング・マーケットのリテール・バンキング・ネットワークのローン残高の 60%超は、地中海沿岸地域（うち 21%は TEB）に集中しており、ウクライナにおける残高は 20%未満です。

営業収益の合計は、当ネットワークの高い地理的多様性の恩恵を受けて急増し、2007 年度第 4 四半期比 52.5%増（恒常為替レートベースでは 43.1%増）の 5 億 5800 万ユーロとなりました。

コスト削減策を迅速に実施し、当期におけるコスト／インカム率がさらに 11.7 ポイント改善して 57.2%となったことにより、営業費用の増加率は、営業収益の持続的成長率（恒常為替レートベースで 27%増）を下回りました。

リスク費用は、前年同期（3200 万ユーロ）に比べて急増し、2 億 7600 万ユーロとなりました。急増の原因は、主に、ウクライナにて 2 億 7200 万ユーロの引当金（うち 2 億 3300 万ユーロは、景気後退によるポートフォリオ・ベースの引当金）を計上したことです。その他の国におけるリスク費用は、小幅な変化に留まりました。

この結果、当四半期の税引前利益はマイナス 4000 万ユーロ（前年同期は 9700 万ユーロ）となりました。

2008 年度通期の税引前利益の合計は、当ネットワークの極めて高い業績が反映され、5 億 3400 万ユーロ（2007 年度比 11.5%増）でした。

2009 年度のエマージング・マーケットのリテール・バンキング・ネットワークは、以下のような取り組みを通じて、その成長戦略を、リスクおよび流動性関連の新たな環境に順応できるものへと見直す計画です。

- ウクライナでは、新規ローンの実行を既に中止した他、リテールおよびコーポレート・ローン・ポートフォリオを再編し、ローン回収専門チームを補強していきます。
- その他の新興市場では、新規顧客の精選に取り組みます。

ウクライナでは(100の支店閉鎖や人員削減等を通じ)コストを削減します。優先事項は、特に、一部の国での採用凍結、サハラ・バンクの統合促進、新しいバック・オフィス合理化策の実施等と共に、その他のネットワークにおける営業効率を強化することです。

## パーソナル・ファイナンス

営業収益は、特に、ローン残高が引き続き増加(13.5%増)したことで、2007年度第4四半期比10.8%増の9億6800万ユーロとなりました。

コスト削減策の強化により営業費用の増加率を6.6%増に抑えられたため、パーソナル・ファイナンス事業部門は、営業総利益の大幅増(前年同期比17.1%増)と4.2ポイントの正のジョーズ効果を達成できました。

リスク費用は、特に南欧および中欧での景気後退により引き続き増加し、3億8400万ユーロ、すなわち266ベース・ポイント(2008年度第3四半期は236ベース・ポイント)でした。

税引前利益は、当グループが有するCofidis株の売却益により、2007年度第4四半期と比べてわずかに3%減の1億5900万ユーロとなりました。

2008年度通期の営業収益は、特にローン残高が増加したおかげで、2007年度比11.2%増の37億9200万ユーロとなりました。コスト削減策を迅速に実施したおかげで、コスト/インカム率は1.7ポイント改善しました。特にスペインや中欧での景気後退が重荷となり、リスク費用は12億1800万ユーロ(2007年度比66.8%増)となりました。Cofidis株の売却益を加味した後の税引前利益の合計は6億6600万ユーロ(2007年度は8億800万ユーロ)となりました。

パーソナル・ファイナンス事業部門は、2009年度に以下を行う計画です。

- 当グループのリテール・ネットワークとのシナジーを強化する。
- コスト削減策を拡大する。この対策は、2009年度においてパーソナル・ファイナンス事業部門に2ポイントの正のジョーズ効果が生じるようなものでなければならない。
- 金融危機が信用リスクに及ぼす影響の軽減(特に、新規ローン実行の見直しや、ローン回収チームの補強)を目的に2009年度にて着手した対策を継続する。

## エクイップメント・ソリューション

エクイップメント・ソリューションの営業収益の合計は、自動車価格の下落による影響を再び受け、2007年度第4四半期比22.9%減の2億2500万ユーロとなりました。また営業費用が13.5%減少し、リスク費用が4800万ユーロに上昇したことで、1400万ユーロの税引前損失が生じました。

2008年度通期の当業務部門の営業収益は、2007年度に比べ8.8%減少しました。営業費用は、管理策が功を奏し、1.5%減少しました。特に、一部の取引について単発の引当金を計上したことに伴いリスク費用が増加したため、税引前利益は1億8000万ユーロ(2007年度は3億6100万ユーロ)となりました。

\*\*\*

2009 年には、当グループのリテールバンキング事業の強化や結合を加速させるため、同事業を統括する組織としてリテールバンキング部門が設立されています。当部門は、1600 万の顧客を有する 6000 の支店を統括し、2008 年度には 175 億 2500 万ユーロの営業収益をあげました<sup>4</sup>。

当部門の設立は、以下のような意味を持ちます。

- 6 つのビジネスラインに再編されたコーポレート・リテールバンキングの機能が、当新部門の全ての業務・プロジェクトを横断的に運営する。
- リテール・バンキング情報システムが創設された。
- エマージングマーケット・リテールバンキング業務は当部門に統合される。

この新部門は、以下の 4 つの優先事項に焦点を当てます。

- 当グループのリテール・バンキング強化策をリードする。
- 人的資源の有効活用。
- ノウハウを共有化し、投資効率を向上させる。
- クロス・セリングを拡大する。

## 当グループの財務の健全性はさらに強固化

2008 年 12 月 31 日現在の BNP パリバの Tier 1 資本の合計は、当グループが収益力を維持できたことや、当年度第 4 四半期にフランス政府による景気刺激策の第 1 段階に参加し 25 億 5000 万ユーロを調達したことにより、2007 年 12 月 31 日比 53 億ユーロ増の 418 億ユーロとなりました。

リスク加重資産は 2008 年度中に 11.5%増加し、当グループが実体経済の支援に取り組んでいることの証となりましたが、第 4 四半期には 1.6%の増加に留まりました。下限値を考慮しない場合、リスク加重資産は、4.6% (240 億ユーロ) 増加しました。これは、CIB 事業部門のファイナンス業務部門の残高の減少 (90 億ユーロ減) が、市場リスクが VaR に及ぼす影響 (市場の極端なボラティリティが及ぼす影響を含む) に起因する増額分 (150 億ユーロ増) や、トレーディング勘定から銀行勘定への資産処理区分の変更に起因する増額分 (20 億ユーロ増) を部分的に相殺したためです。

このため、希薄化を招くことなく資本を強化でき、1 ユーロの配当の支払い考慮後の、2008 年 12 月 31 日現在の Tier 1 比率は 7.8% (2007 年 12 月 31 日現在では 7.3%) となりました。この比率は、BNP パリバのリスク特性に応じた値です。

2009 年 1 月 1 日における下限値の低下と、フランス政府による景気刺激策の第 2 段階への参加により、当グループの Tier 1 比率はプロフォーマ・ベースで 8.4%に押し上げられる見込みです。

短期的には、BNP パリバは、Tier 1 比率のさらなる引き上げに焦点を当てていきます。具体的には、利益創出やフランス政府による景気刺激策への参加により、資本基盤を強化していきます。リスク加重資産は、2009 年度中に、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合の値で 200 億ユーロ減少する見込みであり、CIB 事業部門では大幅減、エマージング・マーケットやバンクウェストでは安定化、フランスやイタリアでは継続的増加をそれぞれ見込んでいます。

当グループの中期的な目標は、7.5%超の Tier 1 比率を維持することです。

<sup>4</sup> フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含み、PEL / CEL の影響およびイタリア国内プライベート・バンキングの 100%を除く。

流動性については、当グループは、銀行業界内で最も低い CDS スプレッドがもたらす大きな競争力を利用していきます。各商品や取引契約条件を状況に応じたものに見直すという方法で、高騰する流動性関連費用を考慮するための極めて積極的なアプローチを実施していきます。預金残高増加率（19%増）がローン残高増加率（11%増）を上回ったため、2008 年度中の預貸率は、129%から 119%に低下しました。2009 年度における当グループの MLT ローンの実行予定額は 300 億ユーロで、うち 90 億ユーロは既に実行済みまたは実行手続中です。

貸借対照表の内容も堅実です。当グループの慎重な買収戦略により、のれんの額は、113 億ユーロに留まりました。この額は主に、リスクの高い地域に対するエクスポージャーが限定的な（新興国では 7 億 6400 万ユーロで、このうち 1 億 1900 万ユーロのみが UkrSibbank 関連の額）、2006 年中期以前に実施したリテール・バンキング事業の買収と関係のあるものです（総額 86 億ユーロ、うち 36 億ユーロはバンクウェスト関連の、また 17 億ユーロは BNL 関連の額）。

最後に、2009 年度は、変動対価を除き、連結範囲の変更および為替レートの変動による影響を除外した場合のコストを、2008 年度に比べ安定化させます。このコスト安定化策は、グループ各部門において、その固有の状況に応じ最適な方法で実施します。具体的には、CIB 事業部門ではコスト削減を、FRB 事業部門および BNL ではコストの安定化を、AMS 事業部門やその他のリテール・バンキング事業においては精選した部門のみでのコスト増に留めることを、それぞれ目標とします。

前述のような各種対策を講じることで、BNP パリバは、依然として先行きの不透明な 2009 年度において、以下のような、当グループの構造的な健全性を活かしていくのに絶好のポジションを維持していきます。

- 当グループの高い魅力
- 営業収益の 60%を生み出すリテール・バンキング事業を核とした多様な業務部門
- 西欧地域に集中している当グループの体制（営業収益の 75%）
- 当グループの優良なコスト抑制策や積極的なコスト管理策
- 経済循環に伴うリスク / リターンへの留意

\*\*\*

以上の業績に対するコメントとして、ボードゥアン・プロ CEO は、次のように述べています。

「金融サービス業界にとって、2008 年は、未曾有の危機に直面した年でした。30 億ユーロの利益をあげ、世界で上位 10 行に入る銀行となった BNP パリバは、その健全性を顕示しました。

これは、リテール・バンキング事業を中心とし西欧地域を事業基盤とした多様かつ戦略的な体制による当グループの競争力に加え、お客様の当グループに対する信頼や、各状況に積極的に対応できる当グループ各チームの能力によるものです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2009 年も、BNP パリバは、实体经济（特にフランス経済）へのサービスを念頭に置いて事業開発を進めていくと共に、引き続き困難が予想される環境に順応するための対策を積極的に進めていきます。具体的には、市場リスクの軽減やリスク加重資産の削減、利益創出やフランス政府による景気刺激策への参加による資本基盤の強化、コストの安定化、積極的なリスク管理等を実施します。」

## 連結損益計算書

	4Q08	4Q07	4Q08/ 4Q07	3Q08	4Q08/ 3Q08	2008	2007	2008/ 2007
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	4,850	6,920	-29.9%	7,614	-36.3%	27,376	31,037	-11.8%
営業費用および減価償却費	-4,308	-4,687	-8.1%	-4,635	-7.1%	-18,400	-18,764	-1.9%
営業総利益	542	2,233	-75.7%	2,979	-81.8%	8,976	12,273	-26.9%
リスク費用	-2,552	-745	n.s.	-1,992	+28.1%	-5,752	-1,725	n.s.
営業利益	-2,010	1,488	n.s.	987	n.s.	3,224	10,548	-69.4%
関連会社損益	-51	73	n.s.	120	n.s.	217	358	-39.4%
その他の営業外項目	93	18	n.s.	36	n.s.	483	152	n.s.
営業外損益	42	91	-53.8%	156	-73.1%	700	510	+37.3%
税引前利益	-1,968	1,579	n.s.	1,143	n.s.	3,924	11,058	-64.5%
法人税	645	-430	n.s.	-101	n.s.	-472	-2,747	-82.8%
少数株主損益	-43	-143	-69.9%	-141	-69.5%	-431	-489	-11.9%
グループ帰属純利益	-1,366	1,006	n.s.	901	n.s.	3,021	7,822	-61.4%
コスト/インカム率	88.8%	67.7%	+21.1 pt	60.9%	+27.9 pt	67.2%	60.5%	+6.7 pt

BNP パリバの 2008 年度第 4 四半期の財務開示物は、本プレスリリース、および本文書に添付してある表示物に含まれています。

法令上要求される開示物はすべて、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「業績 (Results)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典の第 L.451-1-2 条の条文および[訳補: フランス]金融市場庁(Autorité des Marchés Financiers)一般規則の第 222-1 条以降の条文に従って BNP パリバが公表しています。

## 2008 年度第 4 四半期の各事業部門の業績

2008 年 4 月 2 日に公表されたパーゼル II 基準に基づく自己資本による各事業部門の 2008 年度業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内リテール・バンキング事業	BNL bc	IRS	資産運用および証券管理事業	コーポレートバンキング・投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>1,392</b>	<b>719</b>	<b>2,351</b>	<b>1,071</b>	<b>-248</b>	<b>5,285</b>	<b>-435</b>	<b>4,850</b>
対前年同期比	+1.4%	+5.3%	+16.3%	-19.0%	n.s.	-22.0%	n.s.	-29.9%
対前四半期比	-1.6%	+2.0%	+8.3%	-11.1%	n.s.	-30.0%	n.s.	-36.3%
<b>営業費用および減価償却費</b>	<b>-984</b>	<b>-472</b>	<b>-1,360</b>	<b>-856</b>	<b>-514</b>	<b>-4,186</b>	<b>-122</b>	<b>-4,308</b>
対前年同期比	+0.1%	+0.0%	+8.8%	-5.1%	-46.7%	-8.4%	+5.2%	-8.1%
対前四半期比	+0.0%	+10.5%	+8.9%	+0.1%	-48.0%	-7.1%	-6.9%	-7.1%
<b>営業総利益</b>	<b>408</b>	<b>247</b>	<b>991</b>	<b>215</b>	<b>-762</b>	<b>1,099</b>	<b>-557</b>	<b>542</b>
対前年同期比	+4.6%	+17.1%	+28.4%	-48.9%	n.s.	-50.1%	n.s.	-75.7%
対前四半期比	-5.3%	-11.2%	+7.6%	-38.6%	n.s.	-64.0%	n.s.	-81.8%
<b>リスク費用</b>	<b>-97</b>	<b>-147</b>	<b>-991</b>	<b>-1</b>	<b>-1,305</b>	<b>-2,541</b>	<b>-11</b>	<b>-2,552</b>
対前年同期比	+64.4%	+54.7%	+105.6%	-75.0%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	+142.5%	+28.9%	+85.9%	-99.5%	+26.5%	+32.0%	-83.6%	+28.1%
<b>営業利益</b>	<b>311</b>	<b>100</b>	<b>0</b>	<b>214</b>	<b>-2,067</b>	<b>-1,442</b>	<b>-568</b>	<b>-2,010</b>
対前年同期比	-6.0%	-13.8%	n.s.	-48.7%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-20.5%	-39.0%	n.s.	+48.6%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
関連会社損益	1	0	18	-3	0	16	-67	-51
その他の営業外項目	0	0	104	-1	-1	102	-9	93
<b>税引前利益</b>	<b>312</b>	<b>100</b>	<b>122</b>	<b>210</b>	<b>-2,068</b>	<b>-1,324</b>	<b>-644</b>	<b>-1,968</b>
対前年同期比	-5.7%	-13.8%	-62.7%	-49.0%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
対前四半期比	-20.0%	-39.0%	-72.9%	+56.7%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

(単位：百万ユーロ)	フランス国内リテール・バンキング事業	BNL bc	IRS	資産運用および証券管理事業	コーポレートバンキング・投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ全体 (合計)
<b>営業収益</b>	<b>1,392</b>	<b>719</b>	<b>2,351</b>	<b>1,071</b>	<b>-248</b>	<b>5,285</b>	<b>-435</b>	<b>4,850</b>
前年同期	1,373	683	2,022	1,323	1,374	6,775	145	6,920
前四半期	1,415	705	2,170	1,205	2,058	7,553	61	7,614
<b>営業費用および減価償却費</b>	<b>-984</b>	<b>-472</b>	<b>-1,360</b>	<b>-856</b>	<b>-514</b>	<b>-4,186</b>	<b>-122</b>	<b>-4,308</b>
前年同期	-983	-472	-1,250	-902	-964	-4,571	-116	-4,687
前四半期	-984	-427	-1,249	-855	-989	-4,504	-131	-4,635
<b>営業総利益</b>	<b>408</b>	<b>247</b>	<b>991</b>	<b>215</b>	<b>-762</b>	<b>1,099</b>	<b>-557</b>	<b>542</b>
前年同期	390	211	772	421	410	2,204	29	2,233
前四半期	431	278	921	350	1,069	3,049	-70	2,979
<b>リスク費用</b>	<b>-97</b>	<b>-147</b>	<b>-991</b>	<b>-1</b>	<b>-1,305</b>	<b>-2,541</b>	<b>-11</b>	<b>-2,552</b>
前年同期	-59	-95	-482	-4	-114	-754	9	-745
前四半期	-40	-114	-533	-206	-1,032	-1,925	-67	-1,992
<b>営業利益</b>	<b>311</b>	<b>100</b>	<b>0</b>	<b>214</b>	<b>-2,067</b>	<b>-1,442</b>	<b>-568</b>	<b>-2,010</b>
前年同期	331	116	290	417	296	1,450	38	1,488
前四半期	391	164	388	144	37	1,124	-137	987
関連会社損益	1	0	18	-3	0	16	-67	-51
前年同期	0	0	21	-6	-1	14	59	73
前四半期	-1	0	23	-8	0	14	106	120
その他の営業外項目	0	0	104	-1	-1	102	-9	93
前年同期	0	0	16	1	11	28	-10	18
前四半期	0	0	40	-2	1	39	-3	36
<b>税引前利益</b>	<b>312</b>	<b>100</b>	<b>122</b>	<b>210</b>	<b>-2,068</b>	<b>-1,324</b>	<b>-644</b>	<b>-1,968</b>
前年同期	331	116	327	412	306	1,492	87	1,579
前四半期	390	164	451	134	38	1,177	-34	1,143
法人税								645
少数株主損益								-43
<b>グループ帰属純利益</b>								<b>-1,366</b>

## 2008 年度の各事業部門の業績

(単位：百万ユーロ)	フランス国内リテール・バンキング事業	BNL bc	IRS	資産運用および証券管理事業	コーポレートバンキング・投資銀行事業	各事業部門	その他	グループ全体(合計)
<b>営業収益</b>	<b>5,717</b>	<b>2,775</b>	<b>8,782</b>	<b>4,935</b>	<b>4,973</b>	<b>27,182</b>	<b>194</b>	<b>27,376</b>
対前年同期比	+1.4%	+6.1%	+10.6%	-6.3%	-39.1%	-8.3%	-86.2%	-11.8%
<b>営業費用および減価償却費</b>	<b>-3,868</b>	<b>-1,737</b>	<b>-5,033</b>	<b>-3,423</b>	<b>-3,711</b>	<b>-17,772</b>	<b>-628</b>	<b>-18,400</b>
対前年同期比	+0.9%	+0.7%	+8.8%	+1.6%	-22.4%	-3.1%	+47.4%	-1.9%
<b>営業総利益</b>	<b>1,849</b>	<b>1,038</b>	<b>3,749</b>	<b>1,512</b>	<b>1,262</b>	<b>9,410</b>	<b>-434</b>	<b>8,976</b>
対前年同期比	+2.4%	+16.5%	+13.0%	-20.2%	-62.7%	-16.7%	n.s.	-26.9%
<b>リスク費用</b>	<b>-203</b>	<b>-411</b>	<b>-2,378</b>	<b>-207</b>	<b>-2,477</b>	<b>-5,676</b>	<b>-76</b>	<b>-5,752</b>
対前年同期比	+28.5%	+29.2%	+93.6%	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
<b>営業利益</b>	<b>1,646</b>	<b>627</b>	<b>1,371</b>	<b>1,305</b>	<b>-1,215</b>	<b>3,734</b>	<b>-510</b>	<b>3,224</b>
対前年同期比	-0.1%	+9.4%	-34.4%	-30.9%	n.s.	-60.9%	n.s.	-69.4%
関連会社損益	1	1	83	8	1	94	123	217
その他の営業外項目	0	0	259	-3	25	281	202	483
<b>税引前利益</b>	<b>1,647</b>	<b>628</b>	<b>1,713</b>	<b>1,310</b>	<b>-1,189</b>	<b>4,109</b>	<b>-185</b>	<b>3,924</b>
対前年同期比	-0.1%	+9.8%	-24.4%	-31.6%	n.s.	-58.3%	n.s.	-64.5%
法人税								-472
少数株主損益								-431
<b>グループ帰属純利益</b>								<b>3,021</b>
年率換算の								6.6%
税引後株主資本利益率								

## 四半期決算

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
(単位：百万ユーロ)								
<b>グループ事業</b>								
営業収益	8,213	8,214	7,690	6,920	7,395	7,517	7,614	4,850
営業費用および減価償却費	-4,586	-4,848	-4,643	-4,687	-4,605	-4,852	-4,635	-4,308
営業総利益	3,627	3,366	3,047	2,233	2,790	2,665	2,979	542
リスク費用	-260	-258	-462	-745	-546	-662	-1,992	-2,552
営業利益	3,367	3,108	2,585	1,488	2,244	2,003	987	-2,010
関連会社損益	127	90	68	73	85	63	120	-51
その他の営業外項目	1	59	74	18	345	9	36	93
税引前利益	3,495	3,257	2,727	1,579	2,674	2,075	1,143	-1,968
法人税	-854	-874	-589	-430	-570	-446	-101	645
少数株主損益	-134	-101	-111	-143	-123	-124	-141	-43
グループ帰属純利益	2,507	2,282	2,027	1,006	1,981	1,505	901	-1,366

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
(単位：百万ユーロ)								
<b>フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)</b>								
営業収益	1,503	1,490	1,467	1,434	1,521	1,516	1,470	1,442
うち受取利息純額	805	810	812	779	827	819	831	821
うち手数料	698	680	655	655	694	697	639	621
営業費用および減価償却費	-954	-973	-1,011	-1,012	-975	-985	-1,011	-1,012
営業総利益	549	517	456	422	546	531	459	430
リスク費用	-31	-32	-36	-59	-29	-37	-40	-97
営業利益	518	485	420	363	517	494	419	333
営業外損益	0	1	-1	0	0	1	-1	1
税引前利益	518	486	419	363	517	495	418	334
AMS 帰属利益	-41	-35	-30	-32	-35	-32	-28	-22
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	477	451	389	331	482	463	390	312
<b>PEL / CEL の影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)</b>								
営業収益	1,476	1,470	1,443	1,425	1,520	1,514	1,465	1,444
うち受取利息純額	778	790	788	770	826	817	826	823
うち手数料	698	680	655	655	694	697	639	621
営業費用および減価償却費	-954	-973	-1,011	-1,012	-975	-985	-1,011	-1,012
営業総利益	522	497	432	413	545	529	454	432
リスク費用	-31	-32	-36	-59	-29	-37	-40	-97
営業利益	491	465	396	354	516	492	414	335
営業外損益	0	1	-1	0	0	1	-1	1
税引前利益	491	466	395	354	516	493	413	336
AMS 帰属利益	-41	-35	-30	-32	-35	-32	-28	-22
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	450	431	365	322	481	461	385	314
<b>フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)</b>								
営業収益	1,436	1,425	1,406	1,373	1,456	1,454	1,415	1,392
営業費用および減価償却費	-927	-943	-981	-983	-945	-955	-984	-984
営業総利益	509	482	425	390	511	499	431	408
リスク費用	-32	-31	-36	-59	-29	-37	-40	-97
営業利益	477	451	389	331	482	462	391	311
営業外損益	0	0	0	0	0	1	-1	1
税引前利益	477	451	389	331	482	463	390	312



	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
(単位：百万ユーロ)								
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)</b>								
営業収益	640	643	668	690	680	685	710	725
営業費用および減価償却費	-412	-426	-428	-478	-417	-430	-432	-478
営業総利益	228	217	240	212	263	255	278	247
リスク費用	-81	-50	-92	-95	-84	-66	-114	-147
営業利益	147	167	148	117	179	189	164	100
営業外損益	0	-1	0	0	0	1	0	0
税引前利益	147	166	148	117	179	190	164	100
AMS 帰属利益	-2	-1	-2	-1	-2	-3	0	0
BNL bc の税引前利益	145	165	146	116	177	187	164	100
<b>BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの3分の2を含む)</b>								
営業収益	633	638	662	683	674	677	705	719
営業費用および減価償却費	-407	-422	-424	-472	-413	-425	-427	-472
営業総利益	226	216	238	211	261	252	278	247
リスク費用	-81	-50	-92	-95	-84	-66	-114	-147
営業利益	145	166	146	116	177	186	164	100
営業外損益	0	-1	0	0	0	1	0	0
税引前利益	145	165	146	116	177	187	164	100
<b>海外リテール・バンキング・サービス</b>								
営業収益	1,918	1,993	2,010	2,022	2,108	2,153	2,170	2,351
営業費用および減価償却費	-1,098	-1,150	-1,127	-1,250	-1,202	-1,222	-1,249	-1,360
営業総利益	820	843	883	772	906	931	921	991
リスク費用	-202	-240	-304	-482	-383	-471	-533	-991
営業利益	618	603	579	290	523	460	388	0
関連会社損益	19	23	20	21	21	21	23	18
その他の営業外項目	1	8	69	16	115	0	40	104
税引前利益	638	634	668	327	659	481	451	122
<b>バンクウェスト</b>								
営業収益	510	491	500	490	509	485	433	600
営業費用および減価償却費	-268	-261	-260	-263	-261	-247	-263	-299
営業総利益	242	230	240	227	248	238	170	301
リスク費用	-23	-22	-73	-217	-101	-123	-121	-283
営業利益	219	208	167	10	147	115	49	18
営業外損益	0	6	4	5	4	0	1	-1
税引前利益	219	214	171	15	151	115	50	17
<b>パーソナル・ファイナンス</b>								
営業収益	813	857	867	874	912	944	968	968
営業費用および減価償却費	-454	-492	-475	-528	-503	-517	-518	-563
営業総利益	359	365	392	346	409	427	450	405
リスク費用	-155	-183	-192	-200	-230	-274	-330	-384
営業利益	204	182	200	146	179	153	120	21
関連会社損益	15	25	17	19	21	17	18	28
その他の営業外項目	0	0	1	-1	0	0	-1	110
税引前利益	219	207	218	164	200	170	137	159

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
(単位：百万ユーロ)								
<b>エマージング・リテール・バンキング</b>								
営業収益	311	346	348	366	403	440	495	558
営業費用および減価償却費	-205	-221	-219	-252	-262	-276	-289	-319
営業総利益	106	125	129	114	141	164	206	239
リスク費用	-11	-16	-22	-32	-36	-22	-43	-276
営業利益	95	109	107	82	105	142	163	-37
関連会社損益	5	1	6	4	3	5	5	1
その他の営業外項目	0	1	58	11	111	0	40	-4
税引前利益	100	111	171	97	219	147	208	-40
<b>エクイップメント・ソリューション</b>								
営業収益	284	299	295	292	284	284	274	225
営業費用および減価償却費	-171	-176	-173	-207	-176	-182	-179	-179
営業総利益	113	123	122	85	108	102	95	46
リスク費用	-13	-19	-17	-33	-16	-52	-39	-48
営業利益	100	104	105	52	92	50	56	-2
関連会社損益	-1	-3	-3	-2	-3	-1	0	-11
その他の営業外項目	1	1	6	1	0	0	0	-1
税引前利益	100	102	108	51	89	49	56	-14
<b>資産運用および証券管理</b>								
営業収益	1,253	1,357	1,331	1,323	1,263	1,396	1,205	1,071
営業費用および減価償却費	-780	-814	-873	-902	-845	-867	-855	-856
営業総利益	473	543	458	421	418	529	350	215
リスク費用	-2	0	-1	-4	4	-4	-206	-1
営業利益	471	543	457	417	422	525	144	214
関連会社損益	7	11	5	-6	8	11	-8	-3
その他の営業外項目	0	5	4	1	0	0	-2	-1
税引前利益	478	559	466	412	430	536	134	210
<b>資産管理（富裕層向け資産運用業務）</b>								
営業収益	643	704	694	678	600	662	568	543
営業費用および減価償却費	-429	-442	-469	-488	-440	-448	-431	-436
営業総利益	214	262	225	190	160	214	137	107
リスク費用	-1	0	-1	-2	2	0	-10	-16
営業利益	213	262	224	188	162	214	127	91
関連会社損益	5	0	-2	-2	0	3	1	0
その他の営業外項目	0	5	1	0	0	0	0	1
税引前利益	218	267	223	186	162	217	128	92
<b>保険</b>								
営業収益	353	355	358	370	353	392	368	205
営業費用および減価償却費	-159	-161	-168	-176	-173	-181	-182	-175
営業総利益	194	194	190	194	180	211	186	30
リスク費用	-1	0	0	-2	2	-4	-41	-2
営業利益	193	194	190	192	182	207	145	28
関連会社損益	2	11	7	-5	8	8	-10	-3
その他営業外項目	0	0	3	1	0	0	-2	-1
税引前利益	195	205	200	188	190	215	133	24

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
(単位：百万ユーロ)								
<b>証券管理</b>								
営業収益	257	298	279	275	310	342	269	323
営業費用および減価償却費	-192	-211	-236	-238	-232	-238	-242	-245
営業総利益	65	87	43	37	78	104	27	78
リスク費用	0	0	0	0	0	0	-155	17
営業利益	65	87	43	37	78	104	-128	95
営業外損益	0	0	0	1	0	0	1	-1
税引前利益	65	87	43	38	78	104	-127	94
<b>コーポレートバンキング・投資銀行</b>								
営業収益	2,377	2,452	1,968	1,374	1,311	1,852	2,058	-248
営業費用および減価償却費	-1,271	-1,365	-1,185	-964	-952	-1,256	-989	-514
営業総利益	1,106	1,087	783	410	359	596	1,069	-762
リスク費用	56	59	-29	-114	-54	-86	-1,032	-1,305
営業利益	1,162	1,146	754	296	305	510	37	-2,067
関連会社損益	6	3	0	-1	1	0	0	0
その他の営業外項目	4	68	6	11	12	13	1	-1
税引前利益	1,172	1,217	760	306	318	523	38	-2,068
<b>アドバイザーおよびキャピタルマーケット</b>								
営業収益	1,664	1,750	1,445	708	708	1,139	1,368	-1,149
うち株式会社および アドバイザー	815	825	572	560	316	750	492	-1,899
うちフィクスト・インカム	849	926	873	148	392	389	876	750
営業費用および減価償却費	-981	-1,064	-893	-650	-662	-955	-695	-295
営業総利益	683	686	552	58	46	184	673	-1,444
リスク費用	0	0	-12	-53	-94	-43	-909	-1,076
営業利益	683	686	540	5	-48	141	-236	-2,520
関連会社損益	6	3	0	-1	1	0	0	0
その他の営業外項目	4	19	6	9	12	12	1	0
税引前利益	693	708	546	13	-35	153	-235	-2,520
<b>ファイナンス業務</b>								
営業収益	713	702	523	666	603	713	690	901
営業費用および減価償却費	-290	-301	-292	-314	-290	-301	-294	-219
営業総利益	423	401	231	352	313	412	396	682
リスク費用	56	59	-17	-61	40	-43	-123	-229
営業利益	479	460	214	291	353	369	273	453
営業外損益	0	49	0	2	0	1	0	-1
税引前利益	479	509	214	293	353	370	273	452
<b>コーポレート・センター（BNPパリバ・キャピタルおよびクレピエールを含む）</b>								
営業収益	596	349	313	145	583	-15	61	-435
うちBNPパリバ・キャピタル	413	199	267	104	135	44	3	-30
営業費用および減価償却費	-103	-154	-53	-116	-248	-127	-131	-122
うちBNL事業再構築費用	-23	-61	50	-37	-146	-20	-19	-54
営業総利益	493	195	260	29	335	-142	-70	-557
リスク費用	1	4	0	9	0	2	-67	-11
営業利益	494	199	260	38	335	-140	-137	-568
関連会社損益	95	53	43	59	55	29	106	-67
その他の営業外項目	-4	-21	-5	-10	218	-4	-3	-9
税引前利益	585	231	298	87	608	-115	-34	-644

---

	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08
(単位：百万ユーロ)								
<b>クレピエール</b>								
営業収益	107	76	70	89	97	55	88	73
営業費用および減価償却費	-25	-24	-23	-27	-27	-29	-27	-39
営業総利益	82	52	47	62	70	26	61	34
リスク費用	0	-1	-1	-2	-1	0	-3	-2
営業利益	82	51	46	60	69	26	58	32
税引前利益	83	51	47	61	69	30	59	32

---

## 目次

金融危機にもかかわらず 2008 年度も利益創出力を維持 .....	2
明暗の分かれた、コア事業の第 4 四半期の業績 .....	2
リテール・バンキング .....	6
当グループの財務の健全性はさらに強固化 .....	11
連結損益計算書 .....	13
2008 年度第 4 四半期の各事業部門の業績 .....	14
2008 年度の各事業部門の業績 .....	15
四半期決算 .....	16
目次 .....	21

本表示物には、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本表示物に含まれる予測的な記述は本表示物発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新しい情報や将来の事象によって予測的な記述を公に修正もしくはアップデートする責任を負いません。

本表示物に含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、個別に真実たることを確認したものではなく、ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその正当性、精密性、完全性または正確性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともいかなる落ち度に対しても責任を負わず、また本表示物あるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本表示物やここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。